

CEATEC JAPAN 2018、10月16日に開幕

IoT社会の総合展示会、600社/団体以上の出展者が「Society 5.0」の未来を披露

最先端の家電見本市から

Society 5.0 を目指す CPS/IoT の総合展へ

CEATEC JAPAN 2018(主催:一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)など)が10月16日(火)に開幕する。会場は幕張メッセ(千葉県千葉市)で、19日(金)までの会期中4日間で、約15万人(昨年実績)が訪れる見込みだ。

CEATEC JAPANは、デジタル家電の祭典として発展した経緯から、家電見本市のイメージが強かったものを、2016年には、そのイメージを一新。開催テーマに「つながる社会、共創する未来」を掲げ、CPS/IoTの総合展へと大きく舵を切った。いまでは、業種や産業を超えた連携による事業創出や世界各国との政策連携なども含めた「共創」を生み出す場としての認知も広がっており、毎年新たな出展者を迎えながら、「Society 5.0の未来を発信する場」として、業界の垣根を超えて、幅広い業種の企業や団体が集まる展示会となっている。

注目は幅広い産業との「共創」、IoTタウン 2018

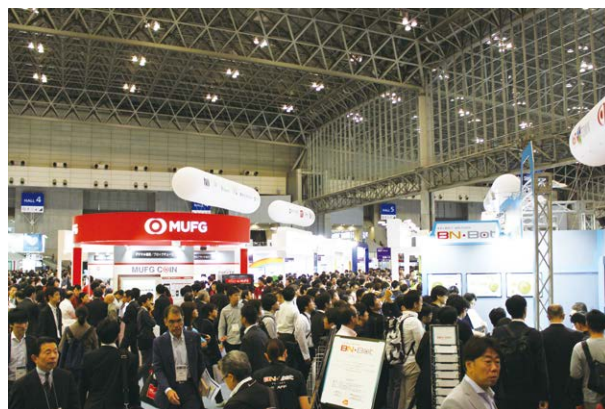
「IoTタウン」は新しいCEATEC JAPANのコンセプトを体現する企画として2016年に誕生した主催者による特別企画で、本年で3年連続の展開となる。今年のIoTタウンには、今回が初出展となるローソン、ライオン、竹中工務店、三菱地所、東日本高速道路をはじめ、20社/団体が集結する。また他のエリアにおいても、スマートファクトリーやスマート農業、エンターテインメントといった注目テーマをはじめ、人工知能

やセキュリティといった最先端テクノロジーの展示が見込まれている。

Society 5.0 が動き出す CEATEC JAPAN 2018

Society 5.0に向けて動き出した企業の取り組みや最先端テクノロジーを実際に体感する機会として、さらにはこれからの未来を考える機会として、ぜひCEATEC JAPANの会場へ実際に足をお運びいただき、「共創」に取り組むパートナーを見つけていただきたい。

CEATEC JAPANの詳細及び来場事前登録は公式WEBサイト(<http://www.ceatec.com/>)にて。



IoTタウン2017の会場風景

FUJITSU Human Centric AI
ジンライ
Zinrai
富士通のAI(人工知能)



「Zinrai(ジンライ)」は、人と協調する、人を中心とした富士通のAI。
人の創造力や可能性を引き出し、社会に新たな価値を創出します。